



交通量が多い9号線

また、県では毎月1日と15日を「交通安全にみんなを取り組む日」と定めている。対策協議会では、家庭・地域・事業所で「交通安全旗」を掲げてもらい、交通安全の意識を高めるきっかけを作りたい。

山町交通安全対策協議会」を結成する。

そして、3月19日に、八橋警察署・交通安全協会・母の会・安全運行管理者協議会・交通安全指導員・老人クラブ・区長会等で「大山町交通安全対策協議会」を結成する。

問



野口昌作 議員

本町の交通事故件数は、平成20年度53件、21年度41件発生している。交通事故死者数は、20年度2人、21年度7人となっている。本町では交通安全対策として、交通安全指導員体制が確立されている。交通安全組織として、八

橋交通安全協会の各支部と交通安全母の会がある。町長は施政方針で「交通安全関係団体の連携を強化し、町民の交通安全の普及啓発に努める」と述べている。行政指導で連絡協議会を組織する考えはないか。

多数の交通事故や死亡事故が発生し、1月21日に緊急の交通安全対策会議を召集した。会議では、関係機関と住民がひとつになり、組織を作るべきだと意見が出た。

答

森田町長

町長

対策協議会を結成する

交通安全組織の強化を

問

山香荘に 大山芝の活用を 町長 サッカー場は人工芝

本町は、良質な芝の産地である。

①町長は施政方針で、山香荘リニューアル構想を「交流人口創出・地域活性化策」として検討する」と述べた。リニューアルは、人工芝のサッカー場を計画しているが、人工芝は選手寿命を短くすると聞く。認識は。②リニューアルには、近隣の芝畑への洋芝混入の危険性から、自然芝の使用は考えていないと思う。

しかし、管理が省力化できる鳥取生まれの「グリーンバードJ」という野芝がある。③グラウンドの芝生化で、鳥取方式が有名だ。県では小中学校・保育所・高校等で、鳥取方式の芝グラウンドを造りたいとしている。教育委員会の考えは。

答

森田町長

①現在開発されている人工芝は日本サッカー協会の定める基準で公認されている。開発当初と比べ、選手の手安全を考えた基準となっており、心配していない。②山香荘では近隣の野芝等への影響から、洋芝は使用できない。「グリーンバードJ」は、サブグラウンドで検討できる。③2年前の大山小の芝生化は、保護者・児童・教職員で行い、住民の管理で現在に至っている。本町が芝の産地であることも考慮し、管理体制等も検討したい。新設される拠点保育所で、取り組みができればと考えている。

このほか、農地団体等の体制と景観形成の質問をした。



特産の大山芝

答

伊澤教育委員長

③2年前の大山小の芝生化は、保護者・児童・教職員で行い、住民の管理で現在に至っている。